

熊本県立劇場 令和2年度 指定管理者 管理運営評価票

所管部局：企画振興部文化企画・世界遺産推進課

I 施設の管理概要

指定管理者名	公益財団法人熊本県立劇場
指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日
施設概要	1 目的: 県民の文化の振興 2 施設概要 ・コンサートホール 収容定員 1,810 人 ・演劇ホール 収容定員 1,172 人 ・大会議室 収容人員 162 人 (机・椅子使用時)、380 人(椅子のみ使用時) ・その他 和室、リハーサル室、第1～3練習室 駐車場(普通車490台、バス5台)、駐輪場(約150台)
指定管理料	376,469,000円(令和2年度分)

II 管理運営の評価

1 管理運営業務の水準

管理業務の水準の指標	目標値	実績値	差	備考
県劇入場者数	336,000 人	70,764 人	△265,236 人	対前年度 △431,229 人
文化事業入場者・参加者数	41,250 人	6,941 人	△34,309 人	対前年度 △36,257 人
コンサートホール利用率	73%	28.3 %	△44.7 ポイント	対前年度 △35.8 ポイント
演劇ホール利用率	81%	33.6 %	△47.4 ポイント	対前年度 △37.5 ポイント

2 管理運営業務実施状況

(1) 施設維持管理業務実績

作業項目			実施頻度	備考
業務名	業務内容			
清掃業務	日常清掃	事務室等6項目	使用のつど ~ 1回/1~2日	仕様書に沿って適正に実施 工事期間等は除く。以下同じ
	定期清掃	事務室等4項目	2回/月 ~ 4回/年	仕様書に沿って適正に実施
高所清掃業務	ガラス清掃	—	4回/年	仕様書に沿って適正に実施
水質管理	水質検査(市水)	残留塩素測定等3項目	1回/週~年	検査結果問題なし
	水質検査(井水)	定期検査	1回/週~年	検査結果問題なし
	受水槽等清掃		1回/年	仕様書に沿って適正に実施
環境測定	空気環境測定	40カ所	6回/年	測定結果問題なし
衛生管理	特定建築物維持管理実績報告		1回/月	仕様書に沿って適正に実施
	害虫駆除		2回/年	仕様書に沿って適正に実施
	汚水ピット清掃		2回/年	仕様書に沿って適正に実施
	ソーラー蓄熱槽清掃		2回/年	仕様書に沿って適正に実施
警備業務	常駐警備業務		全日	仕様書に沿って適正に実施
	駐車場整理用務		必要時	仕様書に沿って適正に実施
設備維持管理	総括管理、運転監視、日常 巡視点検	設備40項目	1回/週~8回/年	点検結果問題なし
	高圧受電設備保安点検		1回/年	点検結果問題なし
	非常用発電機	法定点検等2項目	1~2回/年	点検結果問題なし
	電気設備点検	法定点検等4項目	1~2回/年	点検結果問題なし
	空調設備保守点検	ヒートポンプチラー等 16項目	1/月~4回/年	点検結果問題なし
	中央監視装置・自動制御機 器保守点検		中央監視装置総合1回/年 空調機器1回/年 他	点検結果問題なし
	昇降設備保守	エレベーター4基	4回/年	点検結果問題なし
	消防用設備保守点検		総合点検1回/年 外観点検2回/年 他	防煙垂れ壁修繕済
	特定防火対象物報告		1回/年	仕様書に沿って適正に実施
	自動ドア保守点検		3回/年	点検結果問題なし
	煤煙測定業務		2回/年	仕様書に沿って適正に実施
	給湯ボイラー保守点検		1回/年	点検結果問題なし
	緊急ガス遮断装置保守点検		2~3回/年	点検結果問題なし
その他の設備 維持管理	有料駐車機保守点検		4回/年	点検結果問題なし
	施設予約管理システムソフト 保守		問題発生時	仕様書に沿って適正に実施
	舞台吊物保守点検		3回/年	経年劣化のため要更新
	舞台迫り保守点検		3回/年	大部分の部品交換要検討
	舞台照明システム保守点 検		2回/年+問題発生時	点検結果問題なし
楽器類保守点 検	ピアノ	4項目	1回/年 +(調律3回/年)	仕様書に沿って適正に実施
	チェンバロ		1回/年	点検結果問題なし
一般廃棄物	廃棄物処理業務		日曜、祝祭日を除く毎日	仕様書に沿って適正に実施
植栽等管理	樹木管理業務	駐在作業等9項目	随時~3回/年	仕様書に沿って適正に実施
その他	トイレ洗浄器		1回/2ヶ月	仕様書に沿って適正に実施
	玄関マット等		1回/2週	仕様書に沿って適正に実施
	貸植木		1回/月	仕様書に沿って適正に実施
【点検・調査結果及び評価】 ・維持管理業務は適正に実施されており、安全・清潔・快適な劇場の施設・設備の提供が行われた。				

(2) 文化事業の実績

I 創造拠点事業

1) 実演芸術に係る人材の育成を行う事業

期 日 会 場	事業名	概 要	実績値		
			入場者 (人)	オンラ イン	動画 再生回数
劇場人育成プログラム					
6/23(火) 県庁大会議室	劇場人育成 プログラム ①	静岡芸術大学の片山泰輔教授を招き、講演「文化政策の動向と公立文化施設に求められる役割」を実施した。 新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため当初予定の5/21から延期し、密を避けるため2回に分けて行った。	80	—	—
7/28(火) 大会議室	劇場人育成 プログラム ②	「アフターコロナの自主事業を考える」をテーマに実施。各施設がコロナ禍で取り組む事業の紹介のほか、「コロナ禍の今、公共ホールのミッションを考える」という題でのグループワークを行った。	18	—	—
8/17(月) 中会議室	劇場人育成 プログラム ③	「ネットワーク事業を企画する」をテーマに実施。市町村と協働で実施するネットワーク事業について、次年度やそれ以降に取り組むことを検討しているホールの担当者が参加し、ネットワーク事業のスキームや企画立案の考え方等を共有した。	21	—	—
10/5(月) 演劇ホール	劇場人育成 プログラム ⑥	「裏方が支える舞台の仕事～舞台の現場と職能～」をテーマとして実施。空間創造研究所の草加叔也氏を講師に招き、各市町村ホールの担当者らが、実際に舞台の上に立ってライトを受けたり、高所作業用のベルトを用いてバトンに吊り下がったりするなど、舞台の仕事について体験しながら学ぶプログラムを行った。	35	—	—
11/26(木) 熊本城ホール	劇場人育成 プログラム ④⑤	9/7に実施予定だったが台風10号の接近に伴い延期となったもの。愛知県芸術劇場の林健次郎氏を招き、午前は企画・制作の流れについて、午後は広報・宣伝のノウハウについて学んだ。見積書の読み方や制作スケジュールの確認、効果的な広報戦略等日頃の業務を見直す機会となった。	62	—	—
12/22(火) 熊本城ホール	劇場人育成 プログラム ⑦	ピアノハーブ社の内川明氏とピアニストの吉田秀晃氏、上野屋楽器の上野秀喜氏と箏演奏者3名を招き、ピアノと邦楽器について、それぞれ楽器の基礎知識やスタッフワーク等を学んだ。ピアノの屋根や譜面台の取り外し、運搬台車を用いたピアノの移動、邦楽演奏会時の楽器の運搬や舞台の設置、弦の張り替え方法等、体験しながら学習することができたため、参加者にとってより実践的な研修を行うことができた。	43	—	—
R3.1/9(土) webセミナー	劇場人育成 プログラム ⑧	骨董通り法律事務所(東京都)の岡本健太郎弁護士による著作権セミナー「動画配信と著作権」を開催。当初は講師が来熊する予定だったが、新型コロナウイルスの感染状況を鑑みzoomを使ったりリモートでの実施に切り替えた。 著作権の基礎知識から、動画配信に特化した内容まで幅広く説明。公共ホール職員や教育関係者、文化団体など68名が参加した。	12	56	—

R3. 2/8(月)	劇場人育成プログラム ⑨⑩	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。	—	—	—
行くぜ！劇場探検隊 2020					
10/4(日) 演劇ホール	行くぜ！ 劇場探検隊 2020 (全2回)	子ども向けの演劇型劇場体験ツアー。チームに分かれホール内を探検しながら、舞台に関する仕事について学んだ。また、コロナ禍で公演の中止・延期が相次いでいる現状を鑑み、自宅での鑑賞機会や子どもたちに舞台芸術への幅広い興味を持つ機会を提供するため、バックステージツアーの動画を全9話制作。7月から順次配信した。	31	—	3,280
第62回熊本県芸術文化祭オープニングステージ「バレエ」					
8/30(日) 演劇ホール	芸文祭オープニングステージ 「バレエ」	新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため中止。次年度の芸文祭オープニングステージとして実施できるよう仕切り直すこととした。	—	—	—
第63回熊本県芸術文化祭オープニングステージ準備事業					
R3. 3/29(月)、 30(火) 演劇リハーサル室	芸文祭オープニングステージ準備事業	第62回熊本県芸術文化祭オープニングステージが延期されたことに伴い、約半数の出演者が出演不可となったため、第63回芸文祭オープニングステージの実施に向けて追加オーディション及びワークショップを行った。審査は総合演出を務める島崎徹氏が行い、受験した13名のうち6名が合格。すでに出演が決まっているダンサーと共に振り写しに入った。	50	—	—
演奏家派遣アウトリーチ事業登録アーティスト育成事業					
9/3(木)、 11/16(月) はあもにい	登録アーティストオーディション	令和3・4年度にアウトリーチを行うアーティストを育成する事業。県内外のアーティスト9人が応募した。書類・音源審査を経て、8人がオーディションに参加。池澤真子(ソプラノ)、岡村彬子(メゾソプラノ)、小路永和奈(箏)、若木麻有(オーボエ)の4人が合格した。	17	—	—
R3. 2/22(月)～ 24(水) 健軍文化ホール はあもにい	登録アーティスト研修 ①	登録アーティストオーディションの合格者4名を対象とした研修会。アウトリーチの意義や仕組みについて学んだのち、各々のプログラム作成に取り組んだ。作成したプログラムは、3月に熊本市内の小中学校を対象とした模擬アウトリーチで実践する。	7	—	—
R3. 3/2(火)～ 4(木) 龍田西小学校 熊大附属中学校	登録アーティスト研修 ②	“登録アーティストオーディションの合格者4名を対象とした研修会の第2回目。初日は第1回で組み立てたアウトリーチプログラムのランスルーの実施・修正を行った。2、3日目は実際に、熊本市内の小中学校で模擬アウトリーチを実践。児童生徒計140名の前で演奏をおこなった。”	147	—	—
東京藝術大学音楽学部「早期教育プロジェクト」					
9/19(土) 音楽リハーサル室(リモート)	ヴァイオリン部門	東京藝術大学の教授らによるレッスンを、地方で受けることができる事業。新型コロナウイルス感染症の影響により、今年度はリモートで実施。受講生は学長である澤和樹氏よりそれぞれ40分のレッスンを受け、最後に演奏を披露した。	15	—	—

“9/21(月・祝) 音楽リハーサル室 (リモート)”	ピアノ部門	新型コロナウイルス感染症の影響で、令和2年3月から延期となり、今回リモートで実施。受講生は渡辺健二氏よりレッスンを受け、演奏を披露。また藝大の卒業生である池邊啓一郎氏の演奏を聴き、大いに刺激を受けた。	20	—	—
創造拠点事業 1) 計			558	56	3,280

2) 地域の公立文化ホールや文化団体を支援する事業

期 日 会 場	事業名	概 要	実績値		
			入場者 (人)	オンラ イン	動画 再生回数
熊本文化の発信およびアーカイブ事業					
通年	【追加】 #おうちで 拍手を！	コロナ禍を受け、公式 YouTube チャンネル「ケンゲキアートチャンネル」を整備し、動画配信の事業をスタート。県内で活動している文化芸術団体やアーティストから実演芸術に係る動画コンテンツを募り配信する「#おうちで拍手を！」を企画し、全47作品を公開した。	—	—	38,328
「アトララーニング in 新しい生活様式」支援事業					
通年	【追加】 アトララ ーニング in 新しい生活 様式	コロナ禍を受け、発表や教育の場を失った県内の15の文化・芸術団体・個人のレクチャー動画全75本を制作し、専用 YouTube チャンネルで配信した。日本舞踊、ダンス、日本画、などの多彩な文化・芸術を家にいながら学べる、新しい生活様式における SNS の活用を提案した。参加団体からは、今後もオンライン教室や動画配信などを取り入れていきたい等の声があった。	—	—	38,096
アートキャラバンくまもと					
7/19(日) 宇土市民会館	木管五重奏 団 DUHA	宇土市民会館で木管五重奏団 DUHA による演奏会を実施した。演奏会後のクリニックには宇土鶴城中及び小川中学校の吹奏楽部員が参加した。	109	—	—
7/21(火)、27 (月) 28(火) コンサートホ ール	【追加】 ケンゲキオ ンラインス クール	県立劇場のコンサートホールと熊本市の参加小学校の教室をむすんでプロの演奏をライブで届ける事業。新型コロナウイルスの影響で音楽の授業内容が著しく制限されていることを受け、追加的に実施した。熊本市教育委員会および熊本大学教育学部との連携事業。今後は生配信した授業を編集し、指導案付きのオンデマンド教材として公開する。	—	9,049	—

期 日 会 場	事業名	概 要	実績値		
			入場者 (人)	オンラ イン	動画 再生回数
ネットワーク事業					
10/11(日) 天草市民セン ター	三遊亭好楽 天草公演	人気テレビ番組「笑点」でお馴染みの三遊亭好楽による落語会。前座では好吉と好好がそれぞれ「みそ豆」「孝行糖」などを披露。地域の高齢者からは喜びの声を聴くことができた。	154	—	—
10/11(日) 水俣市文化会 館	SINSKE 水俣市公演	新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため中止。	—	—	—
10/15(木) 宇土市民会館	藤原道山 宇 土公演	尺八演奏家の藤原道山による演奏会。昼公演は宇土市内の中学生を対象とした芸術鑑賞会を、夜は一般向けの80席限定のミニコンサートを開催した。古典曲、オリジナル曲に加え、「アメイジンググレイス」「五木の子守唄」「おてもやん」などバラエティに富んだプログラムとなった	507	—	—
11/23(月・祝) 荒尾総合文化 センター	栗コーダーカ ルテット 荒 尾公演	「ピタゴラスイッチ」や「帝国のテーマ」などでお馴染みの栗コーダーカルテットによる演奏会。感染症対策として、会場を大ホールに変更し、受付等も工夫して実施された。子どもからお年寄りまで楽しめるコンサートであり、最後には一生懸命アンケートを記入している子の姿も見られた。	289	—	—
R3. 2/28(日) 牛深総合セン ター	【追加】 あべや 牛深 公演	邦楽集団あべや5人組の演奏会。今年度はさらに1人加わり、全国に伝わる民謡のほか、オリジナル曲を披露。「牛深ハイヤ節」では喜びの拍手もあり、観客と舞台が一体となって大いに盛り上がった。感染対策として席数を半分にし、入口での検温や手指消毒などを徹底して実施した。	300	—	—
R3. 3/6(土) 水俣市文化会 館(8/1から延 期)	絵本のじか んだよ! 水俣公演	NHK教育テレビ「みいつけた!」のオフロスキーでおなじみ、小林顕作の絵本の読み聞かせ。スクリーンに映し出された絵本の美しさと小林顕作の楽しい語り口に、赤ちゃんから祖父母世代まで楽しいひと時を過ごした。	267	—	—
R3. 3/7(日) ながす未来館 (8/2から延 期)	絵本のじか んだよ! 長洲公演	水俣公演では、感染症の影響によりお別れ遠足が中止になった園児らが、最後の思い出作りで来場する姿も見られた。【取材：熊日(水俣)】	178	—	—
R3. 3/14(日) 八千代座	林家たい平 独演会	人気TV番組「笑点」に出演する林家たい平の独演会を実施。前座は林家あずみによる三味線漫談、たい平は「井戸の茶碗」「青菜」を披露し、巧みな話しぶりに会場は笑いで包まれた。その他、八千代座の企画により「たい平カレー」の配布も行った。	321	—	—

期 日 会 場	事業名	概 要	実績値		
			入場者 (人)	オンラ イン	動画 再生回数
芸術家派遣コーディネート事業					
7/25(土) 県立美術館	菊池恵楓園 心の朗読会	新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため中止。	—	—	—
10/20(火) コンサートホ ール	附中文化の日 芸術鑑賞会	新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため中止。	—	—	—
共催事業					
8/9(日) コンサートホ ール	熊本ユースシ ンフォニーオ ーケストラ定 期演奏会	新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため中止。	—	—	—
8/10(月・ 祝)、11(火)、 29(土)、 30(日)、 9/27(日) コンサートホ ール	【追加】 熊本県吹奏楽 大会	新型コロナウイルス感染症の影響で中止となった吹奏楽コンクールの代替事業。県内の小中高校をはじめとする吹奏楽団の児童生徒・団員に県立劇場での演奏機会を与え、県音楽文化向上に寄与するため開催された。無観客での実施。	—	—	—
10/24(土) コンサートホ ール	第59回熊本 県新人演奏 会	新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため中止。	—	—	—
文化活動支援事業					
通年	文化活動支援 事業	県内で活動する文化団体に、県立劇場での会場費相当を上限に助成する事業。上期は4団体採択していたが、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のためすべて中止。	—	—	—
熊本文化プログラム					
5/23(土)、 24(日) 代々木公園	東京キャラバ ン	新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため中止。	—	—	—
6/7(日) 演劇ホール	鼓童×ロペー ル・ルパー ジュ〈NOVA〉	新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため中止。	—	—	—
8/14(金) コンサートホ ールホワイエ	県劇盆踊り	新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため中止。	—	—	—
12/1(日) 熊本県立美術 館	美術館コンサ ート	新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため中止。	—	—	—
創造拠点事業 2) 計			5,025	9,049	76,424

3) 伝統芸能の継承と発展を支援する事業

期 日 会 場	事業名	概 要	実績値		
			入場者 (人)	オンラ イン	動画 再生回数
清和文楽新作プロデュース事業					
7/14(火) 清和文楽館	清和文楽衣装 制作のための ワークショップ	熊本デザイン専門学校のファッションデザイン科 対象のワークショップ。令和3年3月に初演の清 和文楽新作の衣装デザイン制作を依頼しており、 制作に当たり人形浄瑠璃について学んでもらっ た。	20	—	—
12/16(水) 清和文楽館	人形指導①	淡路人形座から人形遣いの吉田史興氏が来熊し、 清和文楽新作「肥後アマビエ戀歌異聞」の人形指導 を行った。11月に出来上がった床本を読み合わせ ながら人形の立ち位置や振付を行う等、3月の本番 に向けた本格的な稽古がスタートした。 【取材：熊日、TKU】	13	—	—
R3. 1/23(土)～ 25(月) 清和文楽館	人形指導②	淡路人形座から人形遣いの吉田史興氏が来熊し、 清和文楽新作「肥後アマビエ戀歌異聞」の人形指導 を行った。23～24日は脚本を書いた松本真奈美氏 が稽古を見学し、登場人物の心情や場面描写の意 図を説明。より細かな演出が加えられた。 【取材：TKU】	55	—	—
R3. 2/6(土)～ 8(月)、 26(金)～ 28(日) 清和文楽館	人形指導③④	淡路人形座から人形遣いの吉田史興氏が来熊し清 和文楽新作「肥後アマビエ戀歌異聞」の人形指導を 行った。土日の稽古には脚本を書いた松本真奈美 氏や鳴り物の中村花誠氏も参加。公演本番に向け、 生の浄瑠璃に合わせた稽古が繰り返し行われた。	111	—	—
R3. 3/20(土・ 祝) 大会議室	【追加】 「肥後アマビ エ戀歌異聞」	コロナ禍で制作を始めた「肥後アマビエ戀歌異聞」 が初演を迎えた。チケットは発売から4日で売り 切れ、公演当日は満席の観客に迎えられた。この日 は県立劇場リニューアルオープン日でもあること から、「寿式三番叟」も上演。子どもからお年寄り まで幅広い世代が人形浄瑠璃を鑑賞した。 【取材：熊日、TKU、RKK】	128	—	—
伝承芸能発信事業					
通年	伝承芸能発信 事業	新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため実施 保留。	—	—	—
創造拠点事業 3) 計			327	0	0

II 普及拠点事業

1) 実演芸術を鑑賞する機会を県民に提供する事業

期 日 会 場	事業名	概 要	実績値		
			入場者 (人)	オンラ イン	動画 再生回数
サンクトペテルブルグ・フィルハーモニー交響楽団					
4/19(日) コンサート ホール	サンクトペ テルブル グ・フィル ハーモニー 交響楽団	新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため中止。	—	—	—
ベルリン・フィル八重奏団					
5/27(水) コンサート ホール	ベルリン・ フィル八重 奏団	新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため中止。	—	—	—
二分間の冒険					
8/5(水)、 6(木) 演劇ホール	二分間の冒 険	新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため中止。	—	—	—
共催事業					
4/26(日) 演劇ホール	人形劇団む すび座「チ ト」	新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため中止。	—	—	—
普及拠点事業 1) 計			0	0	0

2) 芸術文化に触れる機会を県民に提供する事業

期 日 会 場	事業名	概 要	実績値		
			入場者 (人)	オンラ イン	動画 再生回数
劇場って楽しい!					
10/18(日) 演劇ホール	劇場って 楽しい!	知的・発達障がい児者に向けた劇場体験プログラム。カルテット・スピリタス（サクソフォン四重奏）のコンサートを字幕や手話通訳などによる鑑賞サポート付きで実施した。参加者より、生の演奏を聴く機会がないため貴重な機会となったという声が多くあった。 【取材：熊日】	189	—	—
アドベンチャーシアターinケンゲキ					
9/8(火) 演劇ホール	アドベンチャーシアターinケンゲキ①	熊本市教育委員会の不登校生徒・児童を対象とした「適応指導教室」の所外体験活動の一環として実施。舞台職員の仕事内容を説明した後、奈落体験や、シーリング見学などのバックヤードツアーを実施した。	12	—	—
9/11(金) コンサートホール	アドベンチャーシアターinケンゲキ②	新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため中止。	—	—	—
10/22(木) コンサートホール	アドベンチャーシアターinケンゲキ③	昨年度連携協定を締結した熊本デザイン専門学校向けの人材育成事業。 建築・インテリアデザイン科の1年生を対象にバックステージツアーを実施。劇場職員が両ホールの特徴を説明した。演劇ホールでは奈落を体験したほか、シーリング、ピンルーム、音響調整室、調光室などの見学も行った。	32	—	—
演奏家派遣アウトリーチ事業					
10/12(月)～ 14(水) 津奈木小学校	アウトリーチ事業津奈木町	県立劇場協力アーティストの亀子政孝（コントラバス）によるアウトリーチを津奈木小学校1～6年生の全児童に行った。新型コロナウイルス感染予防のため、通常のコントラバスに触れる体験等が盛り込まれたプログラムから変更を加え、手拍子を打ってリズムを感じる等の工夫を施した。	207	—	—
11/17(火)、 19(木)、 20(金) 岡原小学校 須恵小学校 免田小学校 上小学校 深田小学校	アウトリーチ事業あさぎり町	南小国町では、今回初めてアウトリーチを実施。県立劇場協力アーティストの亀子政孝（コントラバス）による演奏で、4校の小中学生を対象に行った。感染症対策を講じるため、プログラムを一部変更。リズム体験や音の振動を床や壁を使って感じさせるなど工夫をした。南小国中学校では、学校の希望により吹奏楽部の生徒たちとの交流もあった。	191	—	—

期 日 会 場	事業名	概 要	実績値		
			入場者 (人)	オンラ イン	動画 再生回数
11/17(火)、 19(木)、 20(金) 市原小学校 中原小学校 りんどうヶ 丘小学校 南小国中学 校	アウトリー チ事業南小 国町	南小国町では、今回初めてアウトリーチを実施。県立劇場協カアーティストの亀子政孝(コントラバス)による演奏で、4校の小中学生を対象に行った。感染症対策を講じるため、プログラムを一部変更。リズム体験や音の振動を床や壁を使って感じさせるなど工夫をした。南小国中学校では、学校の希望により吹奏楽部の生徒たちとの交流もあった。	173	—	—
R3.1月	アウトリー チ事業益城 町	新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため中止。	—	—	—
R3. 1/25(月)～ 27(水)、 2/5(金) 久木野小学 校 葛渡小学校 水俣第一小 学校 袋小学校 湯出小学校 水東小学校	アウトリー チ事業 水俣市	県立劇場協カアーティストの山本亜矢子(ピアノ)、春日香南(クラリネット)によるアウトリーチ。水俣市の6つの小学校の児童を対象に行った。ピアノの鍵盤の模型を見せ、順番に中をのぞくことや、クラリネットのリードを全員に配るなど、感染対策をしつつも、体験しながら参加できるプログラムであった。また、感染対策として、多くの学校で音楽室よりも広い体育館や多目的ホールで実施した。	177	—	—
普及拠点事業 2) 計			981	0	0

Ⅲ 市民会館事業

期 日 会 場	事業名	概 要	実績値		
			入場者 (人)	オンラ イン	動画 再生回数
出田りあ&村治佳織デュオリサイタル					
6/12(金) 市民会館シア ーズホーム夢 ホール	出田りあ& 村治佳織デ ュオリサイ タル	新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、R3.7/7(水)に延期。	—	—	—
劇団四季「こころの劇場」					
R3.1/27(水)～ 29(金) 市民会館シア ーズホーム夢 ホール	劇団四季こ ころの劇場 「人間にな りたがった 猫」	新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため中止。	—	—	—
合唱と管弦楽のための交響詩集「時の川」					
R3.3/20(土・ 祝)、21(日) 市民会館シア ーズホーム夢 ホール	時の川	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため公演を中止したが、管弦楽で出演する熊本ユースシンフォニーオーケストラの練習を3/20(土)、21(日)に実施。副指揮者である米田覚士氏の指導により、令和3年度の延期公演に向け、演奏イメージなどの確認を行った。	50	—	—
市民会館事業 計			50	0	0
総 計			6,941	9,105	79,704

3 施設の利用状況

施設名		令和2年度計	令和元年度計	前年度比
	開館日数	319	336	▲17
コンサートホール	利用可能日数	145	290	▲145
	利用日数	41	186	▲145
	利用率	28.3	64.1	▲35.9
	入場者数	17,196	172,194	▲154,998
演劇ホール	利用可能日数	146	291	▲145
	利用日数	49	207	▲158
	利用率	33.6	71.1	▲37.6
	入場者数	10,610	122,887	▲112,277
大会議室	利用可能日数	176	318	▲142
	利用日数	38	205	▲167
	利用率	21.6	64.5	▲42.9
	入場者数	2,372	30,877	▲28,395
和室	利用可能日数	184	326	▲142
	利用日数	25	91	▲66
	利用率	13.6	27.9	▲14.3
	入場者数	282	1,666	▲1,384
音楽リハーサル室	利用可能日数	166	323	▲157
	利用日数	55	225	▲166
	利用率	33.1	69.7	▲35.3
	入場者数	1,376	12,906	▲11,230
演劇リハーサル室	利用可能日数	170	323	▲153
	利用日数	55	179	▲124
	利用率	32.4	55.4	▲23.1
	入場者数	1,535	10,272	▲8,737
第1練習室	利用可能日数	182	325	▲143
	利用日数	86	164	▲75
	利用率	47.3	50.5	▲2.3
	入場者数	2,721	7,652	▲4,811
第2練習室	利用可能日数	184	327	▲143
	利用日数	116	227	▲109
	利用率	63.0	69.4	▲5.8
	入場者数	2,262	6,143	▲3,851
第3練習室	利用可能日数	188	325	▲137
	利用日数	159	260	▲100
	利用率	84.6	80.0	▲4.9
	入場者数	2,931	7,299	▲4,329
その他の入場者数	入場者数	29,479	130,097	▲100,618
入場者数 合計		40,586	175,546	▲134,960

【点検・調査結果及び評価】

・令和2年度は、新型コロナウイルス感染症対策として実施した催事の自粛要請や県立劇場の全部又は一部の休館(4/3～5/27)、県立劇場保全計画に基づく改修工事に伴う休館(10/26～3/19)があったのみならず、開館中であっても催事自粛ムードであったため、開催される催事数の減少に伴い、施設の利用者数や利用率は激減したが、これはコロナ禍という特殊事情により、施設利用の中止や延期が相次いだため目標達成が困難な状況となったものであり、やむを得ないと考えられる。

4 管理運営経費の収支状況

① 収入		
項目	内 訳	金額(円)
指定管理委託料	管理業務受託収入、事業受託収入	383,969,000
基本財産運用収入	基本財産利息収入	4,006
特定資産運用収入	特別企画事業積立資産利息等	7,621
事業収入	創造拠点事業収入、普及拠点事業収入等	347,400
制作受託収入	制作受託収入	4,831,245
広告料収入及び事業協賛金収入	広告料収入及び事業協賛金収入	70,000
補助金等収入	団体助成金収入、市町村負担金収入	12,066,501
寄付金収入	寄付金収入	100,000
雑収入	受取利息収入、雑収入	1,937,765
特定資産取崩収入	特別企画事業積立資産取崩収入等	14,065,764
前期繰越収支差額		49,565,808
合 計		466,965,110

② 支出		
項目	内 訳	金額(円)
管理業務支出	人件費支出、維持管理、物件費支出	322,447,712
文化事業費支出	創造拠点事業費支出、普及拠点事業費支出等	52,922,485
投資活動支出	退職給付引当資産取得支出、特別事業積立資産取得支出、文化事業寄付積立資産取得支出等	30,770,787
財務活動支出	リース債務返済支出	4,133,640
次期繰越収支差額		56,690,486
合 計		466,965,110

【点検・調査結果及び評価】

・指定管理委託料について、協定に基づいた劇場の管理運営費、文化事業費に充てるとともに、コロナ禍においても可能な限り指定管理委託料以外の収入確保に努め、インターネット等を利用したコロナ禍での新たな文化事業等に充当するなど、事業運営は適正に行われている。

【使用料の収納実績】

(単位：円)

月	要収入額	収入済額	収入未済額	摘要
(R2) 4	5,391,740	2,480,420		
5	1,336,350	4,172,260		
6	3,456,530	3,344,840		
7	6,779,150	6,858,300		
8	6,584,050	6,631,310		
9	9,661,010	6,461,130		
10	20,725,540	21,839,140		
11	5,460,910	7,213,200		
12	5,296,400	5,436,320		
(R3) 1	4,455,970	4,213,910		
2	2,637,970	2,569,640		
3	9,871,920	10,134,770		
(4)	0	302,300		
年度計	81,657,540	81,657,540	0	うち使用者に返還 32 件 28,660,665 円

【点検・調査結果及び評価】

- ・年間を通して、使用許可及び収納事務は適正に行われた。
- ・施設利用のキャンセルに伴う返還業務も多数あったが、適切に処理されている。

5 利用者調査結果

(主催者)

調査 実施 内容	調査年月日	令和2年4月1日～令和3年3月31日		
	調査方法	施設利用者を対象にアンケート用紙への記入方式で実施		
	調査対象数	11 団体		
評価項目(4段階評価)			満足度(平均値)	
			2年度	元年度
1 利用料金について(4:安い 3:やや安い 2:やや高い 1:高い)			2.10	2.70
2 利用手続きについて(4:円滑 3:おおむね円滑 2:やや煩雑 1:煩雑)			3.82	3.65
3 フロア職員の接客態度や対応について (4:良い 3:概ね良い 2:あまり良くない 1:良くない)			3.91	3.98
4 ステージ職員の接客態度や対応について (4:良い 3:概ね良い 2:あまり良くない 1:良くない)			3.91	3.90
5 舞台・音響・照明について (4:良い 3:概ね良い 2:あまり良くない 1:良くない)			3.91	3.95
6 また利用したいと思うか (4:是非利用したい 3:利用してもいい 2:あまり利用したくない 1:もう利用したくない)			4.00	3.98
計			3.61	3.69
利用者からの 意見等	<ul style="list-style-type: none"> ・職員・スタッフの対応が適切かつ誠実でありが良かった。 ・照明が最高だった。しっかり仕込みをしていただき、お客様にも満足してもらえた。 ・コロナ禍においても、音楽会を開催させていただき感謝する。 ・コロナ対策用具の貸し出しがあると助かる。 			

【調査結果及び評価】

- ・例年同様の傾向であり、利用者の立場に立った劇場運営に努めており、利用者の満足度は概ね高いと評価できる。

6 意見・苦情等の対応

利用者からの意見・苦情等	改善状況
施設利用にかかる申請書提出方法は煩雑なため、簡略化してほしい。	従来、申請書の提出は来館または郵送にて受け付けていたが、ホームページから申請書をダウンロードし、PDF データをメール送信する形に変更した。手続きが簡素化され、利用者の労力、郵送代を削減につながった。
施設の利用受付について、受付時期が分かりづらい（特にホールについては、公演内容により時期が異なる）。	申請時期がすぐに分かるよう早見表を作成し、ホームページに掲載している。 利用者からも分かり易くなったとの意見が多数あり。
【調査結果及び評価】 ・利用者からの意見に対して、組織内で情報共有を行うとともに、適切な対応をとることで利用者の利便性に配慮することに努めている。	

7 昨年度の評価で、改善を指摘された事項に対する対応

指摘事項	改善内容・結果
特になし	

8 その他

熊本県立劇場条例に定める公の施設の設置目的等の達成度

【評価の基準】

- A：持続・更なる向上が期待できる状態
- B：ステップアップが望まれる状態
- C：見直しが必要な状態
- D：抜本的な見直しが必要な状態

【選定の特例（非公募）を適用する目的となった重点的な評価項目の達成度】

（1）人材の育成、確保

■評価項目①：実演芸術を担う人材の育成、確保

評価	理由
A	令和2年度から、実演芸術を担う人材の育成を図る全8回の研修プログラムを実施し、専門性向上につなげた。また、舞台技術編としても県立劇場コンサルでスペシャリストを講師として招いての研修を実施した。 コロナ禍で公演中止が相次ぐ中、映像配信事業を追加実施し、舞台技術者の能力が発揮できる機会を創設した。

(2) 関係機関等との連携

■評価項目②：実演芸術の振興のための県内各施設や関係機関との連携

評価	理由
B	文化振興と舞台芸術のレベルアップを図るため、県内外の文化施設や教育機関等へのスタッフ派遣指導などを行うとともに、県内文化団体や教育委員会、学校等、関係機関と連携した催事等の企画運営や相談対応を積極的に行うなど、本県の実演芸術の振興に努めている。

【運営方針に定める項目の達成度】

(1) 質の高い事業の実施

■評価項目①：質の高い実演芸術に触れる機会の提供

評価	理由
A	運営方針に基づき、前年度に年間の公演プログラムを策定し、計画に沿って事業を進めている。 質の高い公演として「サンクトペテルブルク・フィルハーモニー交響楽団」「ベルリン・フィル八重奏団」等を企画していたが、コロナ禍でいずれも中止となる中、動画配信事業を追加実施し、質の高い実演芸術に触れる機会を提供した。

■評価項目②：特色ある自主企画事業の実施

評価	理由
B	コロナ禍を受け、清和文学の新作をプロデュースし初演する事業を企画・実施。知的・発達障がい児に向けた劇場体験プログラムを実施し、芸術に触れる機会の増大につなげた。 第62回熊本県芸術文化祭における「バレエ」公演を企画していたが、コロナ化で中止となり、令和3年度に改めて実施予定。

(2) 普及啓発

■評価項目③：児童、生徒、学生等に対する質の高い実演芸術に触れる機会の提供

評価	理由
B	県立劇場主催の文化事業において、25歳以下の学生料金の設定や親子向け鑑賞プログラムを実施し、幅広い層が実演芸術に触れる機会の創出に努めている。 また、子ども向けのワークショップの開催や託児サービスの実施を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の影響で中止となった。

■評価項目④：実演芸術の理解を一層深めるための付随事業の実施

評価	理由
D	「二分間の冒険」「熊本県芸術文化祭オープニングステージ」等で付随事業を企画。さらに、県立図書館の協力を得て、より公演を楽しむための図書リストを配布する等の準備をしていたが、新型コロナウイルス感染症の影響でいずれも中止となった。

■評価項目⑤：アウトリーチ事業の実施

評価	理由
C	アウトリーチ事業では、学校との調整や会場下見、演奏家との契約、アウトリーチ実施について、各市町担当者と連携のうえ実施し、4市町計16の小中学校に県立劇場協力アーティストを派遣した。また、アートキャラバンくまもと事業として特別支援学校等に向けたアウトリーチも企画調整していたが、コロナ禍で中止。

■評価項目⑥：国内外で活躍する熊本県出身芸術家等との連携

評価	理由
A	複数の事業において、県出身アーティストに出演を委託した。 また、コロナ禍を受け追加実施した事業において、県出身アーティストから動画作品を募り県民に鑑賞機会を提供するなど、さまざまな角度で連携に努めている。

■評価項目⑦：日常的に人々が集い自由に文化芸術に触れることができるための工夫

評価	理由
A	コロナ禍で日常的に集うことが制限された中ではあったが、動画配信等の新しい手法を取り入れることにより、文化芸術に触れられる機会を提供した。 また、連携協定を結んでいる平成音楽大学や熊本デザイン専門学校とは、共催や公演制作協力等に取り組んだ。

(3) 経営の安定化

■評価項目⑧：協賛企業の確保等、多様な財源の確保

評価	理由
A	文化庁や地域創造等からの助成金のほか、企業や団体からの制作受託費の受け入れ、民間企業との共同企画等により、多様な財源の確保に努めている。 新型コロナウイルスの影響でいずれも中止となったが、サンクトペテルブルグ・フィルハーモニー交響楽団公演には初めて地元金融機関から協賛金を確保、ベルリン・フィル八重奏団公演には地元百貨店と二者共催で実施を計画していた。

■評価項目⑨：公演実施者及び鑑賞者の拡大に向けた取組みの実施

評価	理由
A	文化事業のチケット販売においては、公演の特性を鑑みた営業活動を行い、各種広告やSNSの活用し販売収入拡大に努めている。 公演のサポート担当が、代行業務を積極的に提案・実施にすることにより、利用者の利便性向上を図ったことで公演事業者からも高い評価を受けている。 貸館事業においては、徹底した感染防止対策を講じ、利用者の安心・安全に配慮している。 非対面手続きの促進や利用者の利便性向上のため、各種申請書及び許可書等の電子化を開始した。 アンケートを実施し、課題や問題点を洗い出し、スタッフ間で情報共有してその後の円滑な運営に繋げている。

(4) 安全管理

■評価項目⑩：災害時等における事業継続計画の策定、避難訓練等の実施

評価	理由
B	<p>施設の特徴を踏まえて策定された「熊本県立劇場危機管理マニュアル」をもとに危機管理体制表を作成し、災害発生時には、財団職員のみならず催事主催者とも協力体制がとれるよう運用を行っている。</p> <p>感染症対策については、業種別ガイドラインに基づき、感染防止を徹底。</p> <p>また、地震訓練、消防訓練等のほか、停電、不審者、爆破予告等への対応訓練を行い、危機管理対策に努めている。</p>

■評価項目⑪：災害等の非常時における避難者への対応

評価	理由
A	<p>「熊本県立劇場危機管理マニュアル」等をベースにして、発災時、劇場職員と主催者が協同対応できるように、危機管理体制表を作成し体制を整えている。</p> <p>令和2年9月の台風10号接近時は、7月豪雨で甚大な被害を受けた人吉市の在宅避難者の広域避難先として受け入れを実施した。今後、県や熊本市と連携しながら、避難場所として施設を提供する際の初動対応や環境整備に取り組む予定。</p>

(5) 適切な評価基準の設置と事業評価の実施、翌年度計画への確実な反映

■評価項目⑫：自己評価の実施

評価	理由
A	<p>公演実施者や鑑賞者を対象としたアンケート結果のほか、県内の文化関係有識者からの意見や様々な情報を収集の上、多方面からの意見を反映して自己評価を行うことにより評価の客観性を高めている。また、評価結果を次年度以降の事業計画へ反映させるよう努めている。</p>

■評価項目⑬：県の事業評価結果の事業計画への反映

評価	理由
A	<p>従来からの懸案事項であった「会員制度」の構築に向けて検討を重ね、令和元年度から先行予約会員制度を開始した（令和3年3月末時点で2,992人が登録）。</p> <p>また、県立劇場の運営に関しては、実施したアンケート結果や業務実績等を踏まえ、県との連携のもと改善に取り組んでいる。</p>

令和2年度の事業評価について

令和2年度の熊本県立劇場の管理運営事業については、当初の目標を達成できておらず複数の項目の評価が低くなっている。

しかし、これは新型コロナウイルス感染症の影響により、県が催事の延期または中止を要請したこと、県の方針に合わせて県立劇場の主催事業を中止したことに伴い、多くの取組みができなかったことによるもので、県立施設という性質上からもやむを得なかったものであり、指定管理者の責に帰するものではないとの意見が事業評価検討委員会が出された。

また、指定管理者は、コロナ時代に合わせた新たな取組みを模索しながらオンラインや配信を活用した取組みを行っており、コロナ禍の中での利用について努力をされたものと評価できるとの意見もあった。